

女兒木

胡桐

杏  
白楊、  
樺

萬年松

槐樹、野柘榴は部落の邊に夥し。女兒木は天山々中に有り、白色にして其質堅く、紋理光澤を有す。土人は之にて煙管或は諸器物を造る等、其の用多し。

梧桐の種に、胡桐と稱するもの有り。沙漠地に生ずるも、其の幹枝屈曲せるに因り、用ひて器に製するに足らず。

伊犁の崆克斯河邊には、杉及白楊、樺、杏等の森林あるが、其の高さ概ね八十尺、幹の直徑二尺乃至五六尺に達するもの多し、是等は建築用器具用として適切なりとす。建築用として最良なるは、松樹に若しくは無し。故に松樹を新疆第一の良材とす。松は一見我五葉松の如きも、近つき觀れば、其の葉、單にして頗る短く、且つ密生し、幹は直く、高さ數丈に達するもの少なからず。又萬年松と稱するは、其の幹、松に似て、葉は杉に同じく、樹身甚だ長大なり。最も高きは二十餘丈に達し、亭々として天を摩す。北路の電柱は、悉く松樹を用ひ、巴爾魯克山の産を多しとす。榆樹は荷車製造の原料とし、梧桐は用途至て少なく、薪とするも煙多く、單に田家の煙筒用と爲すに過ぎず。

## 二 植樹の獎勵